

# NetScaler 1000V および ASA マルチ コンテキスト トを伴う 2 ノード サービス グラフの設定と導入

## 内容

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[設定](#)

[ASA の設定](#)

[ASAでのマルチコンテキストサポートの有効化](#)

[ASAでのユーザコンテキストの設定](#)

[ユーザコンテキストの管理IPアドレスの設定](#)

[APICに必要なブートストラップの設定](#)

[APICの設定](#)

[必要なブリッジドメインの設定](#)

[必要なエンドポイントグループの設定](#)

[管理コンテキストをL4-L7デバイスとして追加する](#)

[ポートチャンネルパラメータの設定](#)

[ユーザコンテキストをL4-L7デバイスとして追加する](#)

[NetScaler 1000VをL4-L7デバイスとして追加する](#)

[サービスグラフテンプレートの作成](#)

[サービスグラフテンプレートの導入](#)

[確認](#)

[トラブルシューティング](#)

[既知の障害](#)

## 概要

このドキュメントでは、Cisco Application Centric Infrastructure(ACI)プラットフォーム内で2ノードサービスグラフを設定および導入する方法について説明します。サービスグラフで使用される2つのデバイスは、トランスペアレントモードで稼働する物理Cisco適応型セキュリティアプライアンス(ASA)と *Citrix NetScaler 1000V* 仮想アプライアンスです。

## 前提条件

### 要件

このドキュメントで説明する設定を開始する前に、次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- 2つのスパインスイッチと2つのリーフスイッチで構成されるCisco ACIファブリック

- Cisco Virtual Machine Managed(VMM)ドメイン
- Cisco ASA
- NetScaler 1000V仮想アプライアンス

## 使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のハードウェアとソフトウェアのバージョンに基づいています。

- 2つのスパインスイッチと、コードバージョン1.1以降を実行する2つのリーフスイッチ、およびデバイスパッケージバージョン1.2以降で構成されるACIファブリック
- VMware用にACI内で設定されたVMMドメイン
- 2つの接続（各リーフスイッチへの1つの接続）を持つ物理ASA
- VMWare vCenterに導入されるNetScaler 1000V仮想アプライアンス
- Cisco Application Policy Infrastructure Controller(APIC)

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期（デフォルト）設定の状態から起動しています。対象のネットワークが稼働中である場合には、どのようなコマンドについても、その潜在的な影響について確実に理解しておく必要があります。

## 設定

このセクションでは、この導入に関連するさまざまなコンポーネントの設定方法について説明します。

### ASA の設定

このセクションでは、ASAの設定を完了する方法について説明します。

#### ASAでのマルチコンテキストサポートの有効化

ASAで複数のコンテキストを作成するには、機能を有効にする必要があります。ASAにログインし、コンフィギュレーションモードで次のコマンドを入力します。

```
ciscoasa(config)#
```

```
mode multiple
```

リロードするよう求められます。デバイスがリロードされたら、ユーザコンテキストの作成を続行できます。

**注：** ユーザーコンテキストの前に管理コンテキストを作成する必要があります。このドキュメントでは、管理コンテキストの作成方法ではなく、ユーザコンテキストの作成方法について

説明します。管理コンテキストの作成方法の詳細については、『*Cisco ASA Series CLI Configuration Guide, 9.0*』の「[Configuring Multiple Contexts](#)」セクションを参照してください。

## ASAでのユーザコンテキストの設定

ASAでユーザコンテキストを作成するには、システムコンテキストから次のコマンドを入力します。

```
ciscoasa/admin# changeto context sys
ciscoasa(config)# context
```

```
jristain <--- This is the name of the desired context
```

```
Creating context 'jristain'... Done. (5)
ciscoasa(config-ctx)# allocate-interface Management0/1

ciscoasa(config-ctx)# config-url disk0:/
```

```
jristain
```

```
.cfg
```

```
<--- "context-name.cfg"
```

```
WARNING: Could not fetch the URL disk0://jristain.cfg
INFO: Creating context with default config
```

このコンフィギュレーションは、コンテキストを作成し、このコンテキストで使用する管理インターフェイスを割り当て、コンフィギュレーションファイルの場所を指定します。次に、APICが接続できるように必要な最小限のブートストラップを設定するために、このコンテキストを入力する必要があります。

## ユーザコンテキストの管理IPアドレスの設定

ユーザコンテキストが作成されたら、そのコンテキストに変更し、割り当てられているインターフェイスの管理IPアドレスを設定できます。次のコマンドを入力します。

```
ciscoasa(config-ctx)# changeto context jristain <---
```

### Drops into the user context

```
ciscoasa/jristain(config)# interface Management0/1
ciscoasa/jristain(config-if)# ip address 192.168.20.10 255.255.255.128
ciscoasa/jristain(config-if)# nameif management
INFO: Security level for "management" set to 0 by default.
ciscoasa/jristain(config-if)# security-level 100
ciscoasa/jristain(config-if)# exit
ciscoasa/jristain(config)# route management 0.0.0.0 0.0.0.0 192.168.20.1
ciscoasa/jristain(config)# exit
ciscoasa/jristain# copy running-config startup-config
```

注：nameifエントリは、デバイスパッケージに必要な内容であるため管理である必要があります。nameifエントリに追加の文字が含まれている場合は、APICでのL4-L7デバイスの配備に障害が発生します。

## APICに必要なブートストラップの設定

APICをASAに接続するには、最小限の設定が必要です。これには、HTTPサーバとAPICのユーザーアカウントが含まれます。ユーザコンテキストで次の設定を使用します。

```
ciscoasa/jristain(config)#username
```

<username>

password

<password>

```
ciscoasa/jristain(config)#http server enable
```

```
ciscoasa/jristain(config)#http 0.0.0.0 0.0.0.0 management
```

注：<username>および<password>領域に目的のユーザ名とパスワードを入力してください。

## APICの設定

このセクションでは、APICの設定を完了する方法について説明します。

### 必要なブリッジドメインの設定

2ノードサービスグラフを展開するには、3つのブリッジドメイン(BD)が必要です。

外部ASAインターフェイス (コンシューマ) のBDを設定するには、次の情報を使用します。

- L2不明ユニキャストフラッド
- ARPフラッディング:有効
- サブネットは、ユニキャストルーティングが有効なNetScaler外部インターフェイスのデフォルトゲートウェイとして機能するように設定できません

次の情報を使用して、2つのデバイスを接続するために使用されるBDを設定します。

- L2不明ユニキャストフラッド
- ARPフラッディング:有効
- ユニキャストルーティング - 無効

### 必要なエンドポイントグループの設定

サービスグラフでは、2つのエンドポイントグループ(EPG)を設定する必要があります。1つのコンシューマと1つのプロバイダーコンシューマEPGは、外部ASAインターフェイスに接続するBDを使用する必要があります。プロバイダーEPGは、エンドサーバに接続するBDを使用する必要があります。

## 管理コンテキストをL4-L7デバイスとして追加する

ASA管理コンテキストとユーザコンテキストをAPICに追加する必要があります。これを完了するには、[Tenant] > [L4-L7 Services] > [L4-L7 Devices]に移動し、右クリックして[Create an L4-L7 Device]を選択して、次の手順を実行します。

1. [全般]領域の[管理]チェックボックスをクリックします (有効になっていない場合)。
2. [Device Name] を入力します。
3. ドロップダウンメニューから[サービスタイプ]を選択します。
4. [Device Type](PHYSICALまたはVIRTUAL)を選択します。
5. ドロップダウンメニューから[Physical Domain]を選択します。
6. モードを選択します。
7. [Device Package]ドロップダウンメニューから[CISCO-ASA-1.2]を選択します。
8. ドロップダウンメニューからASAモデルを選択します。
9. 機能タイプを選択します(GoThroughは透過モードで、GoToはルーテッドモードです)。
10. [Connectivity]領域で[APIC to Device Management Connectivity]オプションを選択します。
11. [Credentials]領域にユーザー名とパスワードを入力してください。
12. 管理コンテキストのIPアドレスを、[Device 1]領域の[Management IP Address]フィールド (ポートと共に)に入力します。
13. 物理インターフェイスを作成し、名前を付け、ASAが使用するインターフェイスポリシーグループを選択し、[Provider and consumer]を選択します。
14. [Device 1]エリアで使用した情報と同じ情報をクラスタエリアに入力します。同じポートチャンネルを指す2つのクラスタタイプフェイス(1つのコンバイダーと1つのプロバイダー)を作成します。

Create L4-L7 Devices

STEP 1 > General

1. General 2. Device Configuration

Please select device package and enter connectivity information.

**General**

Managed:

Name: ASA-Admin-Ctx

Service Type: Firewall

Device Type: **PHYSICAL** VIRTUAL

Physical Domain: Joey-ASA

Mode:  Single Node  HA Cluster

Device Package: CISCO-ASA-1.2

Model: ASA5585-without-10GE

Function Type: GoThrough **GoTo**

**Connectivity**

APIC to Device:  Out-Of-Band

Management Connectivity:  In-Band

**Credentials**

Username: apic

Password: .....

Confirm Password: .....

**Device 1**

Management IP Address: 192.168.10.10 Management Port: https

Device Interfaces: × +

Name	Path
port-channel27	Node-101-102/Joey-ASA

**Cluster**

Management IP Address: 192.168.10.10 Management Port: https

Cluster Interfaces: × +

Type	Name	Concrete Interfaces
consumer	consumer	Device1/port-channel27
provider	provider	Device1/port-channel27

PREVIOUS NEXT CANCEL

注：この時点でウィザードの使用を終了できます。フェールオーバー情報を設定する必要はありません。

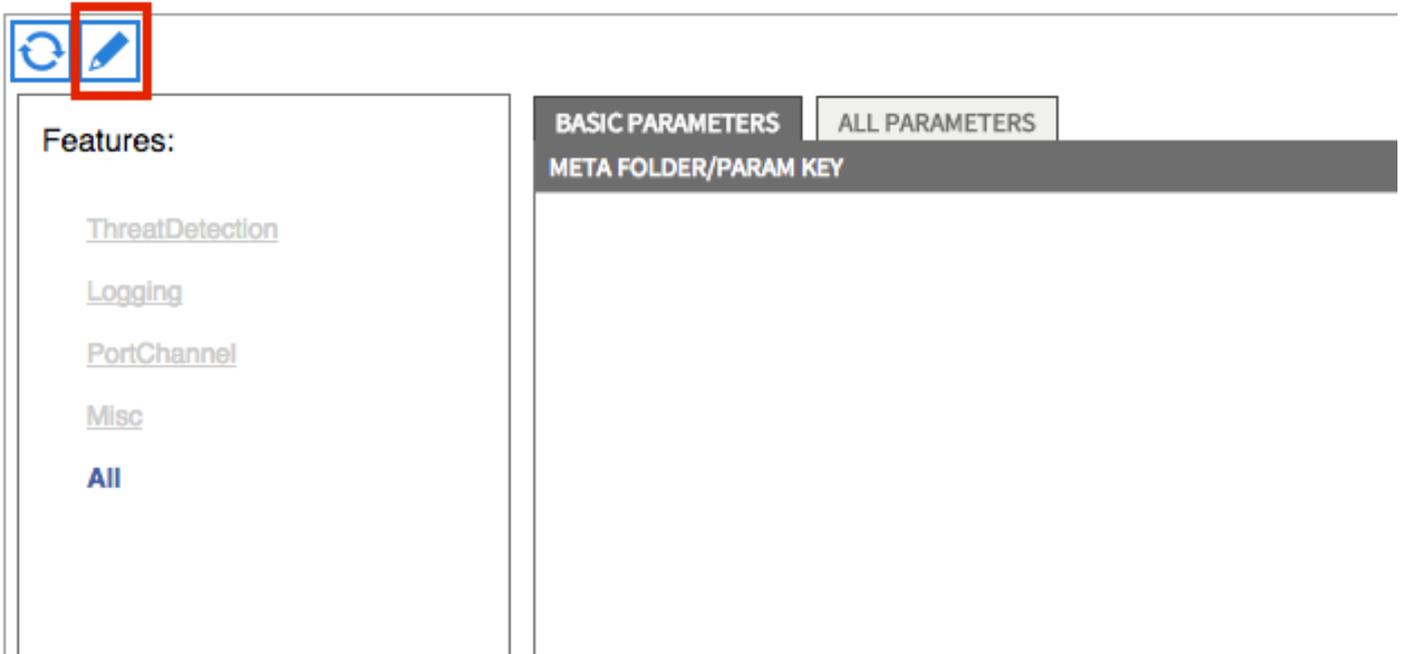
15. デバイスが安定しており、障害がないことを確認します。



## ポートチャネルパラメータの設定

デバイスがファブリックに登録された後、APICはデバイスパラメータを使用して設定をプッシュできます。登録後、まず、仮想ポートチャネル(vPC)でASAをリーフスイッチに接続するポートチャネルを設定する必要があります。

ポートチャネルを設定するには、作成したデバイスに移動し、作業ペインの右上隅にある [Parameters] タブをクリックします。鉛筆アイコンをクリックして、パラメータを変更します。

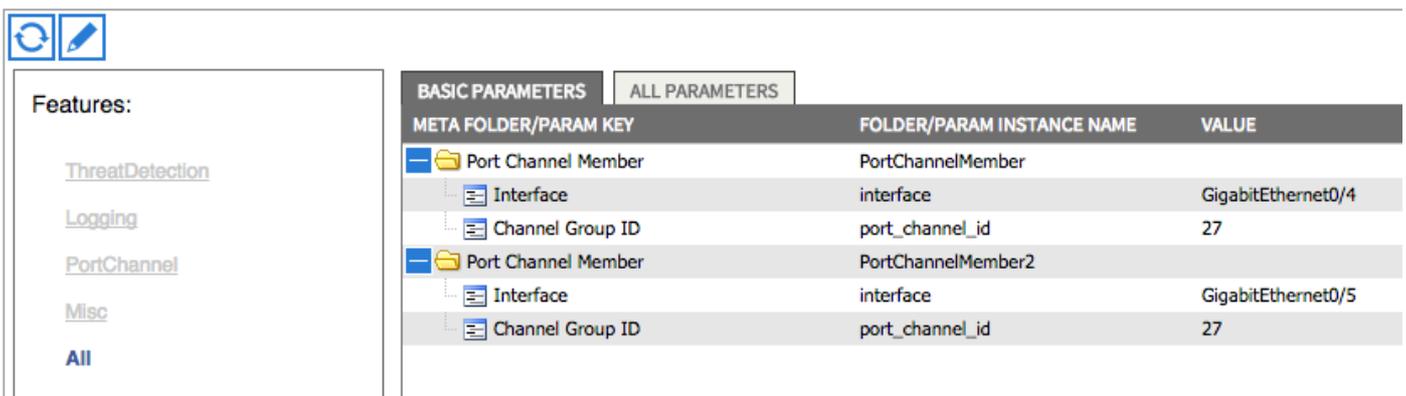


[クラスタパラメータの編集]ウィンドウが表示されます。オプションの範囲を制限するには、[PortChannel]をクリックします。[Port Channel Member]フォルダを展開し、[Configuration Options]を完了します。各オプションの説明を次に示します。

- *Channel Group ID*: [Value]フィールドに、ASAのインターフェイスに割り当てるPC IDを入力します ( 1 ~ 48がサポートされています )。
- *Interface*: [Value]フィールドに、チャンネルグループに割り当てるASAのインターフェイスを入力します。

割り当てるインターフェイスごとに、このプロセスを繰り返します。

## L4-L7 Devices - ASA-Admin-Ctx



完了すると、システムコンテキストでASAのポートチャンネルが作成されます。これを確認するには、システムコンテキストにアクセスし、**show port-channel summary**コマンドを入力します。

```
ciscoasa#
```

```
show port-channel summary
```

Flags: D - down P - bundled in port-channel  
I - stand-alone s - suspended  
H - Hot-standby (LACP only)  
U - in use N - not in use, no aggregation/nameif  
M - not in use, no aggregation due to minimum links not met  
w - waiting to be aggregated  
Number of channel-groups in use: 2  
Group Port-channel Protocol Span-cluster Ports  
-----+-----+-----+-----+-----

27 Po27(N) LACP No Gi0/4(P) Gi0/5(P)

## ユーザコンテキストをL4-L7デバイスとして追加する

ユーザコンテキストをファブリック内のL4-L7デバイスとして登録する必要があります。[テナント] > [L4-L7 Services] > [L4-L7デバイス]に移動し、右クリックして[L4-L7デバイスの作成]を選択して、次の手順を実行します。

1. [全般]領域の[管理]チェックボックスをクリックします (有効になっていない場合)。
2. [Device Name] を入力します。
3. ドロップダウンメニューから[サービスタイプ]を選択します。
4. [デバイスタイプ]を選択します。
5. ドロップダウンメニューから[Physical Domain]を選択します。
6. モードを選択します。
7. [Device Package]ドロップダウンメニューから[CISCO-ASA-1.2]を選択します。
8. ドロップダウンメニューからASAモデルを選択します。
9. [Connectivity]領域で[APIC to Device Management Connectivity]オプションを選択します。
10. 機能タイプを選択します(GoThroughは透過モードで、GoToはルーテッドモードです)。
11. [Credentials]領域にユーザー名とパスワードを入力してください。
12. ユーザコンテキストのIPアドレスを、[Device 1]領域の[Management IP Address]フィールド(ポートと共に)に入力します。
13. 物理インターフェイスを作成し、名前を付け、ASAが使用するインターフェイスポリシーグループを選択し、[Provider and consumer]を選択します。
14. 管理コンテキストの管理IPアドレスを (ポートとともに) クラスタ領域に入力します。同じポートチャンネルを指す2つのクラスタタイプフェイス(1つのコンバイダーと1つのプロバイダー)を作成します。

Create L4-L7 Devices

STEP 1 > General

1. General 2. Device Configuration

Please select device package and enter connectivity information.

**General**

Managed:

Name: ASA-jr1stain-Ctx

Service Type: Firewall

Device Type: **PHYSICAL** VIRTUAL

Physical Domain: Joey-ASA

Mode:  Single Node  HA Cluster

Device Package: CISCO-ASA-1.2

Model: ASA5585-without-10GE

Function Type: **GoThrough** GoTo

**Connectivity**

APIC to Device:  Out-Of-Band  
Management Connectivity:  In-Band

**Credentials**

Username: apic  
Password: .....  
Confirm Password: .....

**Device 1**

User Ctx IP  
Management IP Address: 192.168.20.10 Management Port: https

Device Interfaces:

Name	Path
port-channel27	Node-101-102/Joey-ASA

**Cluster**

Admin Ctx IP  
Management IP Address: 192.168.10.10 Management Port: https

Cluster Interfaces:

Type	Name	Concrete Interfaces
consumer	consumer	Device1/port-channel27
provider	provider	Device1/port-channel27

PREVIOUS NEXT CANCEL

注：この時点でウィザードの使用を終了できます。フェールオーバー情報を設定する必要はありません。

15. デバイスが安定しており、障害がないことを確認します。



## NetScaler 1000VをL4-L7デバイスとして追加する

この設定例の2番目のノードは、NetScaler 1000Vです。NetScalerは、接続されたサーバにロードバランシング機能を提供します。このデバイスもAPICに登録する必要があります。[テナント]>[L4-L7 Services]>[L4-L7デバイス]に移動し、右クリックして[L4-L7デバイスの作成]を選択して、次の手順を実行します。

1. [全般]領域の[管理]チェックボックスをクリックします（有効になっていない場合）。
2. [Device Name] を入力します。
3. ドロップダウンメニューから[Service Type]を選択します(NetScalerはADC、またはApplication Delivery Controller)。
4. [デバイスタイプ]を選択します。

5. ドロップダウンメニューから[VMMドメイン ( 仮想の場合 )]を選択します。
6. モードを選択します。
7. [Device Package]ドロップダウンメニューからCisco-NetScaler1KV-1.0を選択します。
8. ドロップダウンメニューから[Model]を選択します(仮想アプライアンスはNetScaler-VPXです)。
9. [Connectivity]領域で[APIC to Device Management Connectivity]オプションを選択します。
10. [Credentials]領域にユーザー名とパスワードを入力してください。
11. 管理コンテキストのIPアドレスを、[Device 1]領域の[Management IP Address]フィールド(ポートと共に)に入力します。VM ( 仮想の場合 ) を選択します。
12. [デバイスインターフェース]領域に外部インターフェースを作成し、未使用のネットワークアダプタを選択します。注：Network Adapter 1は管理目的で使用されるため、使用しないでください。
13. [Device Interfaces]領域に内部インターフェースを作成し、未使用のネットワークアダプタを選択します。
14. [Device 1]エリアで使用した情報と同じ情報をクラスタエリアに入力します。2つのクラスター・インターフェース(1つのコンシューマと1つのプロバイダ)を作成します。

Create L4-L7 Devices
i x

STEP 1 > General

1. General

2. Device Configuration

Please select device package and enter connectivity information.

#### General

Managed:

Name: NetScaler1000V

Service Type: ADC

Device Type: PHYSICAL VIRTUAL

VMM Domain: Joey-VC

Mode:  Single Node  HA Cluster

Device Package: Cisco-NetScaler1KV-1.0

Model: NetScaler-VPX

#### Connectivity

APIC to Device  Out-Of-Band

Management Connectivity:  In-Band

#### Credentials

Username: nsroot

Password: .....

Confirm Password: .....

#### Device 1

Management IP Address: 192.168.30.10

Management Port: https

VM: Joey-VC/NetScaler

Device Interfaces: x +

Name	VNIC	Path (Only For Route Peering)
external	Network adapter 2	
internal	Network adapter 3	

#### Cluster

Management IP Address: 192.168.30.10

Management Port: https

Cluster Interfaces: x +

Type	Name	Concrete Interfaces
consumer	consumer	Device1/external
provider	provider	Device1/internal

PREVIOUS
NEXT
CANCEL

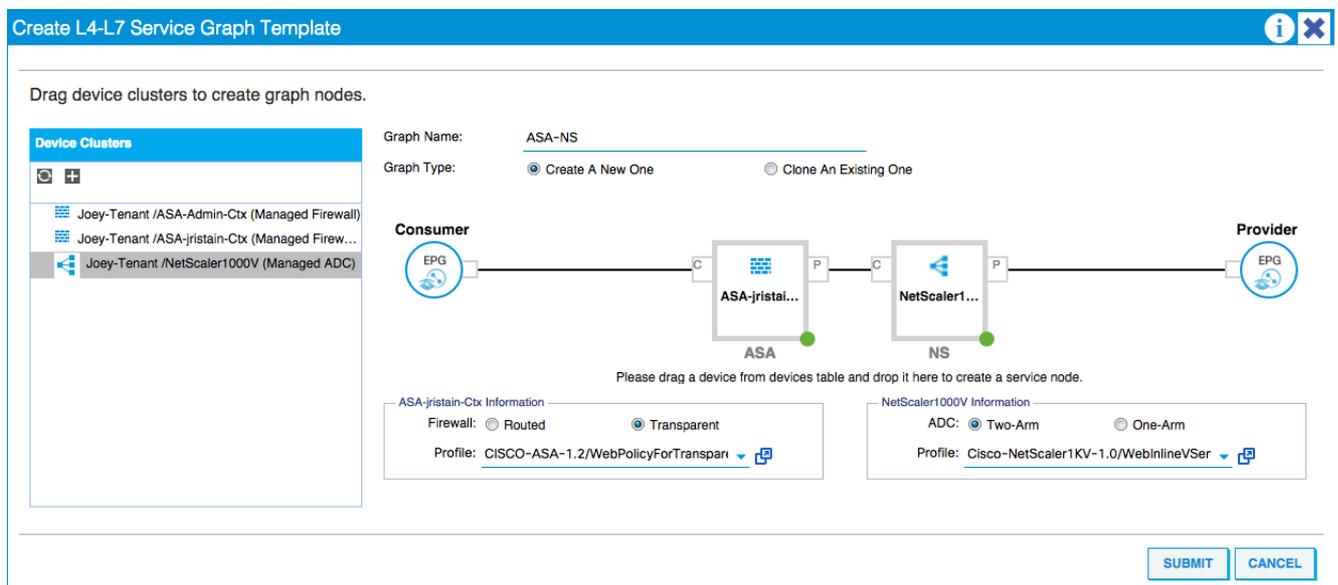
15. デバイスが安定しており、障害がないことを確認します。



## サービスグラフテンプレートの作成

デバイスが登録されたら、サービスグラフテンプレートを作成します。[テナント] > [L4-L7サービス] > [L4-L7サービスグラフテンプレート] > [L4-L7サービスグラフテンプレートの作成]に移動し、次の手順を実行します。

1. [グラフ名]フィールドに名前を入力します。
2. デバイスを[デバイスクラスタ(Device Clusters)]領域から展開する必要がある順序でドラッグアンドドロップします。それぞれの名前を入力します。
3. 各デバイスの機能プロファイルを選択します。NetScalerの場合、この例ではTwo-Arm (またはインラインモード)を使用します。



## サービスグラフテンプレートの導入

テンプレートを作成したら、デバイスに展開できます。[テナント] > [L4-L7サービス] > [L4-L7サービスグラフテンプレート] > [サービスグラフテンプレート] > [サービスグラフテンプレートの適用]に移動します。

[Contract]タブで、次の手順を実行します。

1. 「コンシューマEPG/外部ネットワーク」ドロップダウンメニューからコンシューマEPGを選択します。

2. 「プロバイダEPG/外部ネットワーク」ドロップダウンメニューからプロバイダEPGを選択します。
3. [契約情報]領域で、新しい契約を作成するか、既存の契約を選択します。

Apply L4-L7 Service Graph Template To EPGs i X

STEP 1 > Contract

1. Contract   2. Graph   3. ASA-Jristain-Ctx Parameters   4. NetScaler1000V Parameters

---

Config A Contract Between EPGs

EPGs Information

Consumer EPG / External Network: Joey-Tenant/OSPF/External Provider EPG / External Network: Joey-Tenant/Web/epg-Web

Contract Information

Contract:  Create A New Contract    Choose An Existing Contract Subject

Contract Name: allow-all

No Filter (Allow All Traffic):

PREVIOUS   NEXT   CANCEL

[グラフ]タブで、次の手順を実行します。

1. [BD]ドロップダウンメニューから、ASA外部インターフェースのBDを選択します。
2. [BD]ドロップダウンメニューから、ASA内部インターフェースのBDを選択します。
3. [BD]ドロップダウンメニューから、NetScaler外部インターフェースのBDを選択します。
4. [BD]ドロップダウンメニューから、NetScaler内部インターフェースのBDを選択します。

## STEP 2 &gt; Graph

1. Contract

2. Graph

3. ASA-Jristain-Ctx Parameters

4. NetScaler1000V Parameters

## Config A Service Graph

Graph Template: Joey-Tenant/ASA-NS

**Device Clusters**

- Joey-Tenant /ASA-Admin-Ctx (Managed Firewall)
- Joey-Tenant /ASA-jristain-Ctx (Managed Firew...)
- Joey-Tenant /NetScaler1000V (Managed ADC)

**ASA-jristain-Ctx Information**

Firewall: transparent  
Profile: WebPolicyForTransparentMode

**Consumer Connector**

Type:  General  Route Peering  
BD: Joey-Tenant/Web-Routed  
Cluster Interface: consumer

**Provider Connector**

Type:  General  Route Peering  
BD: Joey-Tenant/Web-FW-ADC  
Cluster Interface: provider

**NetScaler1000V Information**

ADC: two-arm  
Profile: WebInlineVServerProfile

**Consumer Connector**

Type:  General  Route Peering  
BD: Joey-Tenant/Web-FW-ADC  
Cluster Interface: consumer

**Provider Connector**

Type:  General  Route Peering  
BD: Joey-Tenant/Web  
Cluster Interface: provider

PREVIOUS

NEXT

CANCEL

[ASA Parameters]タブで、必要なパラメータを入力します。このタブのパラメータは不要です。

[NetScaler Parameters]タブで、ウィザードを使用してNetScalerの設定を入力します。

## STEP 4 &gt; NetScaler1000V Parameters

1. Contract

2. Graph

3. ASA-Jristain-Ctx Parameters

4. NetScaler1000V Parameters

## config parameters for the selected device

Profile Name:

Folder/Param	Name	Value	Write Domain
ipaddress	ipaddress	192.168.200.1	
netmask	netmask	255.255.255.0	
ip	vip1_inline		
ipaddress	ipaddress	172.25.31.1	
netmask	netmask	255.255.255.0	
Load Balancing Virtual Server	lbserver		
ipv46	ipv46	192.168.200.10	
name	name	server1	
service group	servicegroup_1		
bind/unbind servicegroupmember to servicegroup	servicegroup_servicegroupmem...		
ip	ip	192.168.200.254	
servicegroupname	servicegroupname	Web-Servers	
Function Config	Function		
Load Balancing Virtual Server	server1		
service group	Web-Servers		

RED indicators parameters needed to be updated and GREEN indicates parameters will be submitted to the provider EPG.

PREVIOUS

FINISH

CANCEL

## 確認

現在、この設定に使用できる確認手順はありません。

# トラブルシューティング

このセクションでは、設定のトラブルシューティングに役立つ情報を提供します。

## 既知の障害

このドキュメントで説明されている設定に関連する2つの既知の障害を次に示します。

- スクリプトの警告：ケーブルが正しくないか、インターフェイスコネクタに差し込まれていません。

CREATION TIME	LAST TRANSITION	AFFECTED OBJECT	LIFECYCLE	DESCRIPTION
2015-12-08T17:35:01.557+00:00	2015-12-08T17:37:22.799+00:00	uni/ten-[uni/tn-Joey-Tenant]-scriptHandlerState/cDevState-[uni/tn-Joey-Tenant/IDevVip-ASA-Admin-Ctx/cDev-ASA-Admin-Ctx_Device_1]/devHealth-[uni/tn-Joey-Tenant/IDevVip-ASA-Admin-Ctx/cDev-ASA-Admin-Ctx_Device_1/cIf-[port-channel1]]	Raised	Device configuration resulted in *Script warning : Either the cable is incorrect or not plugged into the interface connector : * for on device ASA-Admin-Ctx_Device_1 in cluster ASA-Admin-Ctx in tenant Joey-Tenant

**Fault Properties**

GENERAL HISTORY

PROPERTIES

Severity: **warning**

Last Transition: **2015-12-08T17:37:22.799+00:00**

Lifecycle: **Raised**

Affected Object: uni/ten-[uni/tn-Joey-Tenant]-scriptHandlerState/cDevState-[uni/tn-Joey-Tenant/IDevVip-ASA-Admin-Ctx/cDev-ASA-Admin-Ctx\_Device\_1]/devHealth-[uni/tn-Joey-Tenant/IDevVip-ASA-Admin-Ctx/cDev-ASA-Admin-Ctx\_Device\_1/cIf-[port-channel1]]

Description: **Device configuration resulted in \*Script warning : Either the cable is incorrect or not plugged into the interface connector : \* for on device ASA-Admin-Ctx\_Device\_1 in cluster ASA-Admin-Ctx in tenant Joey-Tenant**

Explanation:  
This fault occurs when the L4-L7 service returns a warning fault

Recommended Action:  
If you see this fault, please refer to L4-L7 device vendor documentation.

Details

この問題を解決するには、ポートチャネルパラメータが設定されていて、ポートチャネルがASAでアップになっていることを確認します。これを確認する方法に関する情報は、[このドキュメントの「ポートチャネルパラメータの設定」](#)セクションを参照してください。

インターフェイスがアップしているにもかかわらず、これらの障害が引き続き発生する場合は、Cisco Bug ID [CSCuw56882](#)が原因である可能性があります。このバグは、1.2(x) ACIソフトウェアリリースの1.2.3デバイスパッケージサポートで修正されています。デバイスパッケージはこちらからダウンロード[できます](#)。

- メジャースクリプトエラー：Connection Error:401 Client Error:Unauthorized:

2015-12-08T21:27:16.948+00:00	uni/ten-[uni/tn-Joey-Tenant]-scriptHandlerState/cDevState-[uni/tn-Joey-Tenant/IDevVip-ASA-jristain-Ctx/cDev-ASA-jristain-Ctx_Device_1]/devHealth-[uni/tn-Joey-Tenant/IDevVip-ASA-jristain-Ctx/cDev-ASA-jristain-Ctx_Device_1]	Soaking	Device configuration resulted in *Major script error : Connection error : 401 Client Error: Unauthorized* for ASA-jristain-Ctx_Device_1 on device ASA-jristain-Ctx_Device_1 in cluster ASA-jristain-Ctx in tenant Joey-Tenant
2015-12-08T21:27:22.985+00:00	uni/ten-[uni/tn-Joey-Tenant]-scriptHandlerState/cDevState-[uni/tn-Joey-Tenant/IDevVip-ASA-jristain-Ctx/cDev-ASA-jristain-Ctx_Device_1]	Soaking	Device validate operation for device ASA-jristain-Ctx_Device_1 in cluster ASA-jristain-Ctx in tenant Joey-Tenant failed

**Fault Properties** i X

GENERAL
HISTORY

### PROPERTIES

**Severity:** major

**Last Transition:** 2015-12-08T21:27:16.948+00:00

**Lifecycle:** Soaking

**Affected Object:** [uni/ten-\[uni/tn-Joey-Tenant\]-scriptHandlerState/cDevState-\[uni/tn-Joey-Tenant/IDevVip-ASA-jristain-Ctx/cDev-ASA-jristain-Ctx\\_Device\\_1\]/devHealth-\[uni/tn-Joey-Tenant/IDevVip-ASA-jristain-Ctx/cDev-ASA-jristain-Ctx\\_Device\\_1\]](#)

**Description:** Device configuration resulted in \*Major script error : Connection error : 401 Client Error: Unauthorized\* for ASA-jristain-Ctx\_Device\_1 on device ASA-jristain-Ctx\_Device\_1 in cluster ASA-jristain-Ctx in tenant Joey-Tenant

**Explanation:**  
This fault occurs when the L4-L7 service returns a major fault

**Recommended Action:**  
If you see this fault, please refer to L4-L7 device vendor documentation.

### Details ▼

この問題を解決するには、適切なクレデンシャルがデバイスにプロビジョニングされ、APICで正しく設定されていることを確認します。